

☆ 評論（ずばり分析）

東京外国語大学教授  
中 嶋 嶺 雄

◎ 返ってきた鄧小平

注目の鄧小平再復活が実現し、中国共産党十一全大会が開かれて、中国は北京政変以来の政治的・組織的空白をようやく埋めることができた。

政策的には、「最後まで悔い改めない走資派」として自己貫徹した鄧小平の路線が内外政策の基調になり、つい先日まで、たんに「四人組」のみならず、華国鋒現主席ともども昨年の批鄧運動の段階では、ブルジョア的だと批判の対象にしていた「四つの現代化（農業、工業、国防、科学技術の現代化）」路線が全面的に採用されることになった。

華国鋒、汪東興らの文革派非上海グループないしは「宮廷派」は、こうして中国社会の潮流に根づいた鄧小平路線と妥協せざるを得なかったのである。だが、今回の妥協が永続するかどうかはひとえに中国内政の今後の動向にかかっている。いよいよ鄧小平がその余生を毛沢東神話の破壊に賭（か）けようとするとき、毛沢東の「お墨付き」を唯一絶対の護身符にしている華国鋒との亀（き）裂は避けられないのではなからうか。



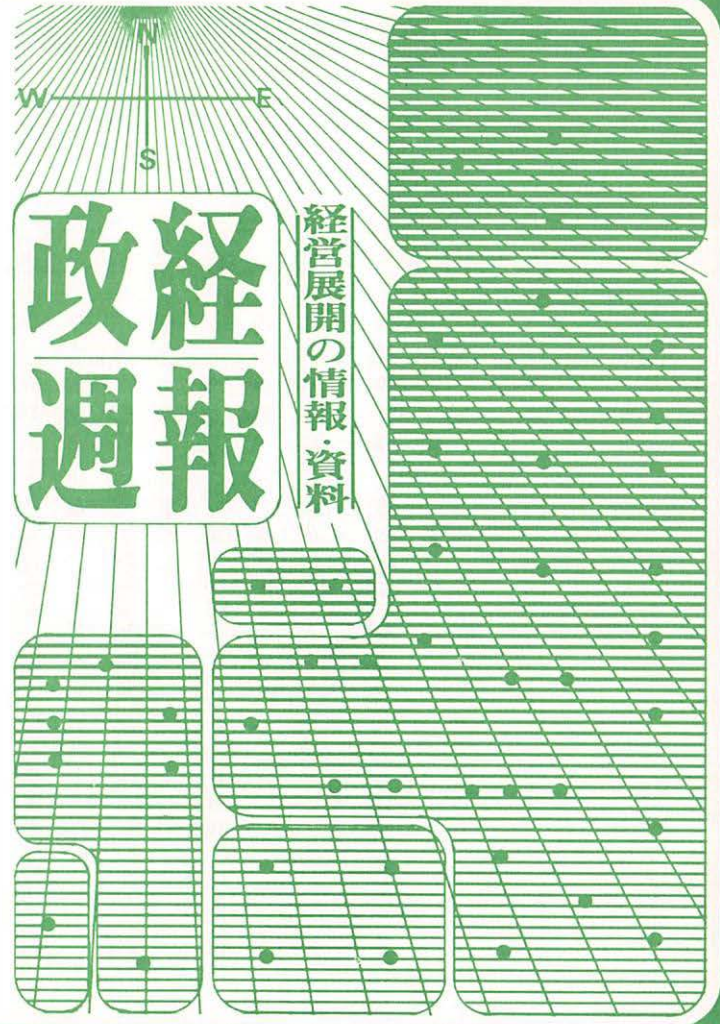
なか じま みねお

中嶋嶺雄氏の略歴

昭和三十五年東京外国語大学中国科卒業。	同四十年東京大学外国語国際関係論課程修了。	同四十二年東京大学講義師となる。	同四十四年同大教授、同四十六年同大教授、同四十八年同大教授、同五十一年同大教授。	同四十九年同大教授、同五十一年同大教授、同五十三年同大教授、同五十五年同大教授。	同五十七年同大教授、同五十九年同大教授、同六十一年同大教授、同六十三年同大教授、同六十五年同大教授。	同六十七年同大教授、同六十九年同大教授、同七十一年同大教授、同七十三年同大教授、同七十五年同大教授。	同七十七年同大教授、同七十九年同大教授、同八十一年同大教授、同八十三年同大教授、同八十五年同大教授。	同八十七年同大教授、同八十九年同大教授、同九十一年同大教授、同九十三年同大教授、同九十五年同大教授。	同九十七年同大教授、同九十九年同大教授、同百零一年同大教授、同百零三年同大教授、同百零五年同大教授。
---------------------	-----------------------	------------------	--	--	--	--	--	--	--

多数の海外調査歴十数回の検証「現代中国論」ほか

長野県出身、四十一歳



# 経政週報

経営展開の情報資料

## 目次

☆ 評論（ずばり分析）  
東京外国語大学教授 中嶋嶺雄 …… 1

☆ 政界特報「三木氏」第二次徳島戦争」にかける …… 2  
◎ 返ってきた鄧小平  
◎ 福田「大平体制への揺さぶりねらう」  
― 敗ければ三木王国崩壊の恐れも！

☆ 経済フラッシュ「後任総裁レース、日銀勢が有力」 …… 3  
◎ 最右翼は沢田前公取委員長  
― 二年後の日銀総裁候補、早くも出そろろう！

☆ 企業動向「デノミ経済効果はなんと二兆円」 …… 4  
◎ 株式市場にもプラス  
― 野村総研のパンフに人気！

☆ 行政研究「安定財源確保に住民負担増加」 …… 5  
◎ 受益者負担路線を色濃く打ち出す  
― 来年度の地方行政重点施策！

☆ 海外情報「本当に効果あるの”気休め薬”」 …… 6  
◎ 医学の本質問題にまで発展  
― 欧米で論争起こる！